

令和7年度第1回東海市産業推進会議 会議録

1 日 時

令和7年（2025年）8月21日（木）

午後3時から午後4時10分まで

2 場 所

東海市役所 501会議室（5階）

3 出席者

(1) 委員（敬称略）

野村 淳一、浅井 良隆、大西 彰、加藤 剛、小笠原 潤、野口 剛規、
福尾潤一、水野 敬太

(2) 事務局

芦原 商工労政課長、岩田 商工労政課統括主任、礪谷 商工労政課主任

4 議 題

別紙次第のとおり

5 公開、非公開の別

公開

6 傍聴者の数

0人

7 会議内容

(1) あいさつ【次第 1】

芦原商工労政課長からあいさつ。

(2) 自己紹介【次第 2】

名簿順に自己紹介。

(3) 議題

ア 産業振興ビジョンについて【次第 3-(1)】

事務局から資料に基づき、説明。

イ 施策評価シートについて【次第 3-(2)】

事務局から資料に基づき、説明を行い、その後、質疑応答を行った。

野村議長： 推進項目 1、(4) 主な取り組みについて、ふるさと納税についての別紙の詳細説明をお願いしたい。

事務局： 海老せんべいが人気であり寄付額、件数ともに上位を占めている。今後品目を増やしていきたい。

浅井委員： (4) 主な取り組みの小規模事業者持続化補助金（国）の獲得を支援するについて、補助金を獲得した事業所数が 2 事業所となっているが、間違いはないか、もう少し多いと思われる。

事務局： 補助金の時期について、令和 5 年度（2023 年度）は 4 回あったが、令和 6 年度（2024 年度）は 1 回だった。また、その 1 回の申込期間が極端に短かったこともあり 2 事業所の実績となった。

大西委員： 令和 6 年度（2024 年度）は少なかったが、令和 7 年度（2025 年度）の申込事業所数は非常に多くなっている。

野口委員： 指標 4 地域特産品出荷額について、東海市の地域特産品はフキ、タマネギだけなのか。出荷額が減っているため、他の特産物を増やすなどをするべきではないか。

事務局： 現在はフキ、タマネギの 2 つである。今年度より夕焼け姫という柑橘類を販売する予定のため、出荷額として取り上げるよう検討する。

野村委員： 推進項目 2、指標 1 従業員数が適正であると回答した事業所について、適正であった割合は年々割合が下がってきている。

事務局： 企業訪問の際にも多くの事業所が、従業員不足で困っているとの相談が多い。就職支援セミナー等を開催し支援を行っている。また、事業承継の相談も増えてきている。

浅井委員： 就職支援セミナーの中で、新規雇用につながった件数を教えてほしい。セミナー等で雇用につながらない場合、アンケート等で意見を取りまとめ、こういった人材、企業を求めているか等の分析が必要ではないか。

大西委員： 件数の把握は難しい。前回のセミナーでは、企業側は現場職を求めているが、参加者は事務職の希望者が多い。企業側と、参加者の求めるものが違う。

浅井委員： 女性でも働きやすい現場職はあるのか。

小笠原委員： ハローワークの相談状況としても、男女問わず相談者は、事務職の希望が多いが、企業側は現場職を求めている、ミスマッチとなっている。知多半島は製造業が多いことも要因の一つである。企業と求職者の希望職種、希望賃金に乖離があり、結びつけることが難しい。

また、少子化も要因となっており、高卒向けの求人が多いが、高校生の就職希望者が非常に少ない。求職希望者は、45歳以上が多く、特に60代の方が多い。70歳過ぎの方も就職活動している現状。年齢のミスマッチも発生しており、うまく解消していない。

野村委員： 推進項目3、指標2の就職人数について、女性の働き方が昨年度の評価で減り続けているので対策をするとの事だったが、何か対策を行ったのか。

事務局： 市では、育児休暇中の女性を対象にセミナーや相談窓口を実施した。すぐに定員が埋まってしまうほど人気があった。

野村議長： （4）主な取り組みで、労働相談の相談件数が2件となっているが、昨年度の93件より減少した原因はなにか。

事務局： 市役所1階にハローワークの職業相談室の出張所を設置している。令和5年度（2023年度）までは、受付の対応しながら相談も受けていたが、その支援員が令和6年度（2024年度）より常駐体制ではなく、月一回の専門員の訪問相談に変更になったため、件数が極端に減少した。

野村議長： 今後、常駐体制に戻る予定はあるか。

事務局： 常駐体制になる予定は、今のところない。

野村議長： 月一回の訪問相談ではなく、人気のあった育児休暇中の女性を対象に行ったセミナーや相談窓口に切り替えた方がよいのではないか。

事務局： 労働相談の内容として、不当な解雇への解決方法や、労働条件のトラブルが多かった。専門機関によるWeb等での相談窓口の体制が整ってきたため、今後も相談内容に応じて専門機関につなげていきたい。また、人気のあるセミナーも積極的に実施していく。

浅井委員： 推進項目4（4）主な取り組みの商店街近代化奨励交付金を交付するとあるが、東海市に商店街はないと認識している。

事務局： 商店街近代化奨励交付金について、交付対象は商業地域及び近隣商業地域内の建築物の近代化を推進するため、3階建て以上の中高層耐火建築物を建築した所有者に対して交付している。太田川駅周辺の開発時に、多い時で7件が対象となった。

野村議長： 指標2市内ホテル宿泊者数について、宿泊者が増加し賑わいにつながっている。しかし、ホテルのキャパシティはどうか。

事務局： 太田川の駅周辺のホテルの稼働率までは把握していない。繁忙期の状況を聞く限り、利用者のニーズは高いと考える。また、新たにホテルが1棟建設予定である。

野村議長： 東海市内で行われるイベントや、事業の宣伝を上手にすれば盛り上がるのではないかと。

事務局： 太田川駅周辺はニーズが非常に高く、ホテル料金のピーク時は一泊2万円になることもある。例えば、常滑市のセントレアでイベントがある際、その区域のホテルが満室になることが多く、波及する形で東海市への宿泊客が多くなっている。

(4) その他【次第 4】

事務局より

創業支援等事業計画について

令和7年度（2025年度）第1回東海市産業推進会議 次第

日時：令和7年（2025年）8月21日（木）

午後3時～

場所：東海市役所501会議室（市庁舎5階）

1 あいさつ

2 自己紹介、議長あいさつ

3 議題

(1) 産業振興ビジョンについて

(2) 施策評価シートについて

4 その他